



あさひ台

学 校 報
第 487 号
R3. 9. 30
五城目小学校

学校教育目標

夢高く 心たくましく 学び合う五小の子
～ つなぐ ひらく つくる ～



「五太郎」

ふるさと五城目を愛する子どもを育む

校長 小玉 史男

どこまでも澄んでさわやかな秋晴れのもと、どっしりと構えて優しく見守る森山とともにうれしい大運動会を行うことができました。グラウンドの完成を待って5月から9月へと季節を移し、新校舎、新グラウンドで新たな形の運動会が実施できたことに感謝申し上げます。新校舎を背景に、宙に浮きながら全力で駆け抜ける子どもたちの姿を家族の皆様、地域の方々に応援していただくことができたことはほんとうによかったと思います。

ある方から「町中に運動会のアナウンスや音楽が流れ、ああ、ほんとうにこの場所に五小ができてよかったと実感した。子どもの声が聞こえると無条件でうれしくなる。」というお話をいただきました。これからも、地域とともにある学校、地域に愛される学校でありたいと強く思いました。

運動会の様子は、校長ブログ「徒然日記」でも紹介しています。ご覧ください。



「徒然日記」

さて、6年生が5年生の時に総合的な学習の時間でデザインした五城目町のイラストがシールになって活躍し始めています。昨年のこの時期は、コロナ禍により日常生活が一変し、ワクチン接種の情報も少なく、先の見えない不安と多くの制約によって社会全体が疲弊し始めていました。その中で5年生が取り組んだのは、首都圏に住むふるさと五城目会の皆さんに対して、自分たちができる自分たちなりのエールを送りたいという活動でした。五城目町の名所やお店、特産品を一人一人がイラスト化し、それぞれのよさをグループごとに一枚にまとめてデザインしました。8グループで、8枚の作品が完成しました。宛名シールサイズに縮小して、五太郎、ぴっキー、やっぴー、ちゃっぴーの仲間とともに12枚1組の五城目シールを完成させました。

多くの皆さんに喜んでもらえるようにと子どもたちと話し合ったのは次のような内容でした。

- 1 ふるさと五城目会会報やまゆりに五城目シールを同封し、コロナ禍にあって自粛を強いられた多くの会員の方々に五城目町や子どもたちからエールを送ります。
- 2 東京にあるアンテナショップで五城目町の商品をご購入頂いた方々に五城目シールをプレゼントし、五城目町や子どもたちの笑顔や元気をお届けします。
- 3 五城目町まちづくり課のご協力をいただき、ふるさと納税お礼の品に五城目シールを同封し、五城目町や子どもたちからの感謝の気持ちを伝えたいと思います。

この子どもたちの学習活動についてふるさと五城目会の高澤博彦会長に相談したところ、「実現に向けて協力したい」とおっしゃっていただきました。半田龍子編集委員長のご尽力により、ついにふるさと五城目会会報やまゆり82号（R03.10.01発行）に五城目シールを同封させていただきました。また、アンテナショップ用のシールも準備が整い、実現目前です。3つ目の取組については、最終調整の段階ですので、ぜひ実現したいと願っています。

子どもたちは、真剣に五城目町のよさについて調べ、考え、イラストにまとめて、多くの方々に笑顔や元気、感謝の気持ちを伝えたいと学習を進めてきました。学校と地域がつながることで、心豊かでふるさと五城目町のよさを愛する子どもたちがさらに育まれていくものと思います。

関係各位のご理解、ご協力に改めて感謝いたします。ありがとうございました。

五城目シールは五小ホームページ（<http://www.gojome-s.hs.plala.or.jp/index.html>）でご覧いただけます。